



FKC

The

Furano Kotobuki College Times

富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係

電話 0167-39-2318

文責：上 用 眞一郎

Summer Seminar

学校は夏休みに入りました。私にとって夏と言えは、上川神社のお祭りから始まりました。忠別川での魚釣りに、貯水池でのカラス貝採りに、棒切れ1本を持って虫捕り…家に帰ってくるのは夕暮れ…待ちに待った楽しい夏休みです。

そんな昔ながらの虫採りも魚釣りも、今の子ども達にとっては「特別な冒険」かも知れません。そこにデジタル技術が入り、プログラミング体験、タブレットやスマホで動画制作、デジタルアートやアニメーション制作な



どを楽しんでいるようです。ただ、子どもたちは遊びの天才です。その理由は、目的のない自由な創造性にあるのでしょうか。遊びはただ楽しいだけで良いのです。ちょっと脱線しますが、横溝正史は“文学は遊び”だと言っていました…

さて、7月28日（月）・29日（火）は、第57回北海へそ祭りでした。今年も街頭補導でお祭り会場や駅周辺を巡回しました。今年は人通りが多く、前に進めないほどでしたが、雨にも負けず楽しんでいました。いつかビール片手にへそ踊りを見たいし、いっそのこと、ことぶき大学も踊りますか！？いよいよ踊りスタートの19時、子どもたちにとって楽しい夏休みになることを願って街頭補導を終了しました。

VUCA（ブーカ）の時代へ

～ 先が見えない不安な未来への到来 最終章～

“One-Day Discovery at Asahikawa City University!”

Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）、この単語の頭4文字をとり VUCA（ブーカ）と言います。

不安を抱えている私たち…

- ・物価高騰と将来の不安、自信喪失(自己肯定感の喪失)
- ・社会はコンプライアンス(法令順守)の中、ハラスメント(相手の嫌がることをして不快感を覚えさせる行為全般)、共生社会、多様性、男女同権、正しさ正義など同調圧力の嵐
- ・今までの常識は令和時代の非常識
- ・様々な人権侵害と権利意識と個人主義
- ・HSP(感受性の高い人々) 傷つきやすい人々の増加
- ・ひきこもりの人は?(40~64歳約65万人、15~39歳約60万人)
- ・人と比較して自信を喪失している ⇒ 突発的(衝動的)に暴力や危害を加える人が急増！
生きる希望を見失ってしまう！

令和7年2月19日の講座の中で、旭川市立大学の木下先生は、これらの不安について実例を挙げて話してくれました。

どれ一つとってもとても深い問題ですが、木下先生の話を聞くにつれ、何故か心が軽くなり、少しずつブーカの時代へ生きる道が見えてきたようにも感じました。

それは、多くの不安を自分だけで受け止めないこと。決して孤立しない、孤立させないこと。不安の共有することだと学びました。

もっとオープンに、心を開放する場、そのための仲間、コミュニケーションづくりが必要と、私は理解しましたが、2時間の講座では話し尽くせないという木下先生、新年度、旭川市立大学への一日体験学習をする予定でいます。

是非、この続きをお願いしたいです。

～令和6年度旭川市立大学出張講座より～

ということで、実現したのが、

【サマーセミナー2025】「VUCA(ブーカ)の時代へ」、サブテーマ“～先が見えない不安な未来への到来 最終章～”

そして、本日、7月30日(水)旭川市立大学一日体験学習当日を迎えました。

旭川市立大学地域連携研究センター事務室主任の金村勇希さんのお蔭でサマーセミナーを実現することができました。大学構内の施設見学、学校紹介、学食体験、そして体験授業を計画しました。授業は勿論、木下先生です。

「文学の散歩道」で芥川龍之介を取り上げていますが、彼の死の原因を「ぼんやりとした不安」といっています。「ぼんやりとした不安とは何か」がこの文学の散歩道でのテーマでもあります。ぼんやりとは輪郭がはっきりしていない、心がどこか遠くにある、明確なものがないこと。今日の講義の中で、その糸口が見つかるのかも知れません。



ことぶき大学のサマーセミナーは“旭川市立大学での新しい体験の日”……

“One-Day Discovery at Asahikawa City University!”

旭川市立大学体験 日程



北辰会館



8時00分 市立富良野図書館集合 集合次第出発

8時15分 // 発

10時00分 旭川市立大学 着（北辰会館へ移動）

10時20分 施設見学（大学校舎・短大校舎・図書館）

11時00分 学校紹介（大学・短大校紹介）

11時20分 学食体験

（好きなメニューを選び各自で会計します）

12時15分 食べ終わり次第移動

北辰会館2階第一会議室で休憩

（移動 15分）

12時30分 体験授業

講義内容「先が見えない不安な未来への
心の処方箋（最終章）」

保健福祉学部棟 講義室1

保健福祉学部コミュニティ福祉学科

准教授 木下一雄 先生

14時00分 旭川市立大学 発

14時30分 き花の杜 着

15時50分 // 発

17時35分 市立富良野図書館 着

「2025 夏」の研修は、旭川市立大学との新しい出会いです。

木下先生の講義も楽しみですが、学食体験もとても楽しみです。

旭川市立大学との出会いは、もう15年近くになるのでしょうか。

山内学長時代にことぶき大学で講演をしていただいたこともあります。

今日は、また新しい出会いが待っています。大いに学び合いましょう。

そして我々がリーダーとなりこのような学校や施設を富良野にも！！

学びの場を広げましょう！！



注文の流れ

1. カウンターで注文する形式 食堂はピュッフェ式ではなく、基本的にはカウンターで注文するスタイルです。
 - ・メニューは壁やカウンター上に写真付きで掲示されています
 - ・食べたいメニューをスタッフに伝え、調理された料理が提供されます
2. トレーを持って受け取り口へ 注文後、トレーを持って料理を受け取ります。
 - ・一部のメニューはすぐに提供されますが、揚げ物などは少し待つこともあります
3. レジで精算 最後にレジで支払いをします。
 - ・現金・交通系ICカード・スマホ決済などが使えます
 - ・高齢者の方にはスタッフが支払い操作をサポートしてくれるので安心です
4. 席に着いて食事 食堂内は広く、背もたれ付きの椅子やゆったりしたテーブル席もあります。
 - ・食後は返却口に食器を戻すだけでOKです

8月6日（水曜日）次回の日程

当番学年：大学院1年、研究生、第2研究生1

文化会館 AB に集合ください。

◎ 8月6日（水）全日：複合庁舎文化会館会議室 AB で開催です。

9時30分 朝の集い

AM：文学の散歩道 その3

芥川龍之介のその3です。彼の生と死について考えているのですが、なかなか見えてきません。一旦ここでこれまでのまとめをします。

彼の言う「ぼんやりとした不安」とは何か。今日の木下先生の講義で、新しい発見や解釈ができるかも知れません。

PM1：コーラス（リハーサル室）リズムダンス（会議室AB）

PM2：学年（課題）別研究（会議室AB）

お薦めの一品

（栗原はるみの日曜日のおいしいブランチ 1999年より）

シーザーズ風サラダ



カリッと焼いたガーリックトーストとパルメザンチーズをチラシ、特性オニオンドレッシングをかけます。

【材料4人分】

レタスの葉・・・3枚
サニーレタスの葉・・・3枚
サラダ那・・・1/2個
クレソン・・・1束
きゅうり・・・1本

《ガーリックトースト》

バケット・・・適宜
バター・・・大さじ4
にんにくのすりおろし・・・小さじ1

《オニオンドレッシング》

玉ねぎのすりおろし・大さじ1
ワインビネガー・・・大さじ4
塩・粗びきこしょう・各少々
砂糖・薄口しょうゆ・各少々
顆粒コンソメ・・・少々
サラダ油・・・大さじ3



おろしにんにくを混ぜたバターをぬってオーブントースターでこんがり焼きます。バケットの厚さや切り方はその日の気分で。

パルメザンチーズ（おろして）適宜

【作り方】

1 レタス、サニーレタス、サラダ菜は一口にちぎる。クレソンは固い軸から葉先を摘まむ。きゅうりはひとくち大の乱切りにする。全部を冷水に放し、パリッとさせてから、よく水をきる。
2 ガーリックトーストをつくる・バケットは薄切りにする。バターはおろしにんにくを加えてよく混ぜたものを片面に塗り、オーブントースターでカリになるまで焼く。
3 オニオンドレッシングは材料をよく混ぜて作る。
4 器に①の野菜を盛り、②のガーリックトーストを手で割ってのせる③のオニオンドレッシングをかけ、パルメザンチーズをふる。

ポイント

- 1 オニオンドレッシングをつくろう！
- 2 ボリュームが欲しければ、生ハム、エビやイカのフライも○
- 3 サラダをメインディッシュに！
冷え冷えの白ワインで乾杯！